

【芸術学部】フロントランナー「現代美術展に挑戦しよう」

今年度の芸術学部フロントランナーの取り組みは、昨年度に引き続き「現代美術展に挑戦しよう」という講座です。今回は日本画、洋画に加えて、立体造形で取り組む学生も含めました。この活動のねらいは、最終的な現代美術展への出品の有無ではなく、各分野において「制作を通じて学ぶ」という経験こそが最も重要な取り組みであり、その結果、現代美術展への出品、入選につながれば、学生たちには自信がついていくことになるでしょう。現段階での個人の技能には差があるため、今回は現代美術展への出品、入選が叶わなかったとしても、制作の中で確実に力を付け、経験値も確実に上がっていくので、来年度の出品に繋がっていくと考えています。1、2年生のうちそれぞれの分野において、取り扱う画材の特性を知り、自分の表現にあった技能を身につけ、作品化するための発想の練り上げ、探究する力を付けることが大きな成果となります。このフロントランナーに取り組んでいる1、2年生の姿勢が、今後、学部の他の学生にも良い刺激となって波及していくことを願っています。



取り組みの様子